

ロシアの東方政策と極東地域開発に関する研究



ほりうち けんじ
国際言語文化学科 堀内 賢志

● 連絡先

E-mail : khoriuchi@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

ロシア、ロシア極東地域、東方シフト



ウクライナへの軍事侵攻を開始したロシアは、国際社会から強い非難を受け、厳しい制裁を受けることになりました。一方で、「グローバルサウス」と呼ばれる非西側諸国、特にアジア・ユーラシアの国々には、ロシアにより宥和的な姿勢を持ち続ける国も多く存在します。プーチン政権はかねてから、アジア太平洋諸国との関係強化と極東・シベリア地域の開発を進める「東方シフト」を進め、アジア・ユーラシアの国々との関係強化を図ってきました。ウクライナをめぐる西側諸国との対立激化の中、ロシアはエネルギー開発や輸送インフラの整備、極東地域の社会インフラ整備などを通じて、その取り組みを一層強化しようとしています。こうした政策の進捗状況を追いながら、国際秩序の行方、そして日露関係の今後についても考察しています。



ウラジオストク・ルースキー島の極東連邦大学キャンパス。2012年にウラジオストク APEC の会場として建設され、2015年より年次開催されている「東方経済フォーラム」の会場ともなっている。



中露国境の川に浮かぶボリショイ・ウスリースキー島（中国名・黒瞎子島）とロシア側をつなぐ橋。同島はかつて中露領土問題の係争地だったが、2004年に「面積等分」での分割が合意された。

アピールポイント

日本の隣国であり、現在厳しい対立関係にある一方、天然資源などで協力関係にもあるロシアを理解することは、きわめて重要です。